

獨協医学会

会 長 吉田 謙一郎 (獨協医科大学 学長)

運 営 委 員

矢澤 卓也*	石光 俊彦**	今高 城治	上田 祐司	川合 覚
神作 憲司	黒須 明	桑島 成子	小橋 元	鈴木 圭輔
志水 太郎	豊田 茂	橋本 貢士	原澤 寛	増田 道明
松島 久雄	松島 博之	宮本 智之	宮本 雅之	安士 正裕
和氣 晃司	渡邊 菜穂美			

*委員長 **副委員長

Dokkyo Journal of Medical Sciences 編集委員

石光 俊彦*	今高 城治**	神作 憲司	増田 道明	志水 太郎
鈴木 圭輔	豊田 茂	安士 正裕	宮本 雅之	宮本 智之

*委員長 **副委員長

Dokkyo Journal of Medical Sciences 編集事務員

松本智恵子

編 集 後 記

新型コロナウイルスの流行により、世界中のあらゆる分野で新たな変革が求められています。私たちの医学の分野においても、研究・診療・大学教育・そしてその運営方式と、今までとは違う、そしてCOVID以降の時代にまで即した新しい方式の模索が必要となりました。注意すべき点は、この模索は必ずしも変革的な模索ではなく、新しい日常の有り方を作り出していく作業であることです。一寸先の見えないコロナ禍ではありますが、長い視点でこの先を見つめて考えると2020年の今現在は、まだまだ船出の時かもしれません。

もしCOVIDの流行が1980年代の出来事だったら…と考えるとぞっとしますが、西暦2000年以降、幸いにも人類はインターネットという革新的なツールを編み出し、既にその包囲網は世界中を張り巡らせています。ここに来てWHOはSocial distanceに変わる次の用語として、Physical distanceを提唱しています。この言葉の意味は「コロナウイルスの蔓延する社会の中でも、人と人とのつながりが離れることの無

いよう、またたとえ物理的には距離が離れたとしても一人一人が安全に社会と人との関係を保てるような有り方を模索していこう」という意味が込められています。

折しも本号が刊行される2020年の獨協医学会学術集会は、初めてのWeb方式での開催となります。本稿に向かっている10月末の候には、我々編集委員一同、精力的に本会総会の準備に取り掛かっております。またWeb開催となる総会と同時に、今まで無かったDokkyo Journal of Medical Sciencesのホームページの作成作業にも追われています。この作業の暁には、本誌への電子投稿・査読システム、またオープンアクセス化を想定したりポジトリの充実のみでなく、医学中央雑誌、J-Stageや果てはPubMedへの審査、そして掲載と、編集委員会は志を高くした活動をしています。

来るべき新しい日常にむけて、DJMSが学術的にも発展のある雑誌となりますよう、会員皆さまよりのご投稿を心よりお待ちしております。(今高城治)

2020年10月20日印刷

第47巻 第3号

2020年10月25日発行

編集発行人

獨協医学会

吉田 謙一郎

発行所

獨協医学会

〒321-0293 栃木県下都賀郡壬生町北小林880番地
獨協医科大学

Tel (0282) 87-2484

製 作

教 文 堂

〒162-0804 東京都新宿区中里町27

Tel (03) 3260-6136